



介護保険における

保険者の公的責任

…地域包括ケアシステムの確立を目指して…

～介護予防を中心に～

東内京一

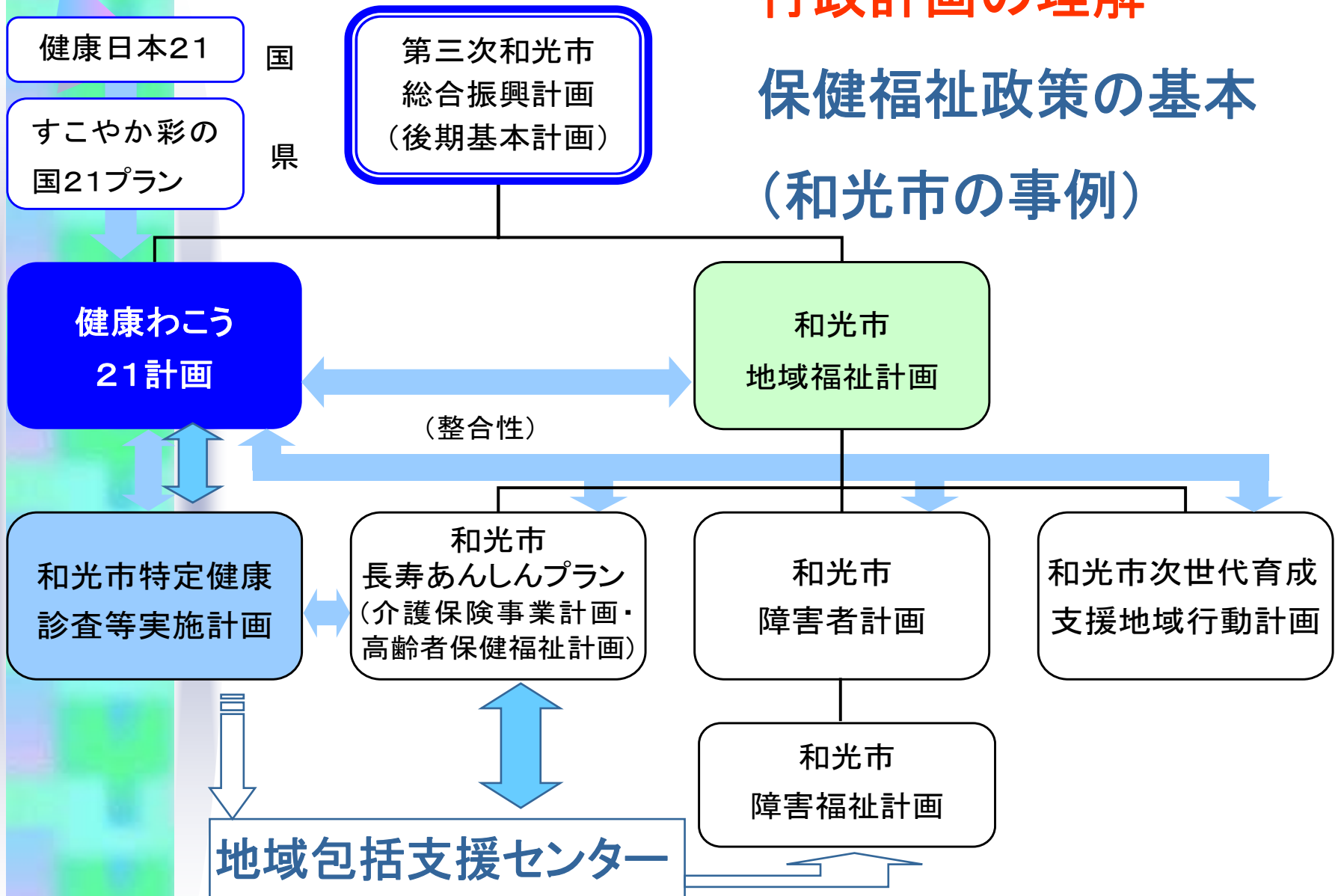
第4期介護保険事業計画策定のポイント

- 国の示す計画策定準則とは別に・・・
- 地方分権下の事業計画として
- コンサル・シンクタンクに依存しない
- 我がまちの介護・保健・医療・福祉等に係るニーズ調査・分析（オールジャパンの制度と我がまち独自制度）
- サービス必要量と供給量の詳細検討（地産地消型）
- **自治体と民間事業と市民の共生型の役割分担と連携**
- 本気の例規整備・財源論及び人材育成の明確化
- スクラップビルトの検討から実現へ
- **先進市の事業形成のプロセス**をいかに学ぶか
- 地域包括ケアの原点と目標達成を目指す機能する計画
- 分権下の自治体職員のパラダイムシフトは必須！
- リハビリ含むサービス提供者自らの行動変容も必須！
- 超高齢社会に持続可能な介護保険制度等をもう一度考える！

行政計画の理解

保健福祉政策の基本

(和光市の事例)



地方分権の介護保険 保険者の政策能力がポイント

…14年度に和光市が提唱した政策基本方針…

第4期介護保険事業計画にも承継

- 地域包括ケアを念頭にした政策を考えて……
- 介護予防前置主義（元気高齢者の多い街）
- ※介護予防プログラムの遂行と特定保健指導とのリンク
- 介護保険（居宅介護の限界点の追求）
- ※療養型病床の転換と長寿医療の整理（在宅医療と在宅介護の包括）
- 地域視点（地域特色・課題解決型ネットワーク構築）
- ※日常生活圏域と地域密着型サービス基盤と地域ニーズの充足）
- 権利擁護（身上監護を基本に）
- ※消費生活問題から虐待問題までのチーム編成の明確化

地域支援事業

- 1把握 特定高齢者把握事業(生活機能チェック・検査)
- 2通所 ふれしゅらいふプログラム(高齢者筋力トレーニング事業等)
- 3通所 ふれしゅらいふプログラム(転倒骨折予防教室含む)(一般・特定)
- 4通所 フットケア事業(バランス向上等)
- 5通所 うえるかむ事業(特定・一般)
- 6通所 うえるかむ事業(音楽療法)
- 7訪問 栄養改善食の自立(配食)管理栄養ステーション
- 8訪問 介護予防ヘルプサービス
- 9訪問 介護予防型訪問指導
- 10訪問 口腔ケアステーション
- 11評価 特定高齢者・一般高齢者施策評価事業
- 12一般 介護予防サポーター講座及び事業運営
- 13包括 食の自立支援事業
- 14包括 介護予防マネジメント事業・包括的・継続的
- 15任意 介護給付等費用適正化事業
- 16任意 在宅支援サービス
- 17任意 成年後見人制度利用支援事業
- 18任意 緊急通報・安否確認(見守りネット)事業
- 19任意 住宅環境整備指導事業
- 20任意 高齢者支援住宅管理指導事業

融合事業リンク

和光市の高齢者ニーズを

充足する独自事業

※基本方針目標を達成
するために

市町村特別給付事業

- 1 食の自立・栄養改善サービス
- 2 紙おむつ等購入費助成
- 3 地域送迎サービス費助成

保健福祉事業

- 1 スクリーニング調査(健康寿命100)
- 2 重点課題地区の地域調査
- 3 健康増進施設の利用補助

平均寿命の動向

【平成12年】

順位	市区町村名	男
1位	所沢市	79.7
2位	三芳町	79.3
3位	狭山市	79.0
4位	和光市	78.9
5位	志木市	78.8
5位	さいたま市	78.8
7位	新座市	78.6
7位	上福岡市	78.6
7位	朝霞市	78.6
10位	飯能市	78.5

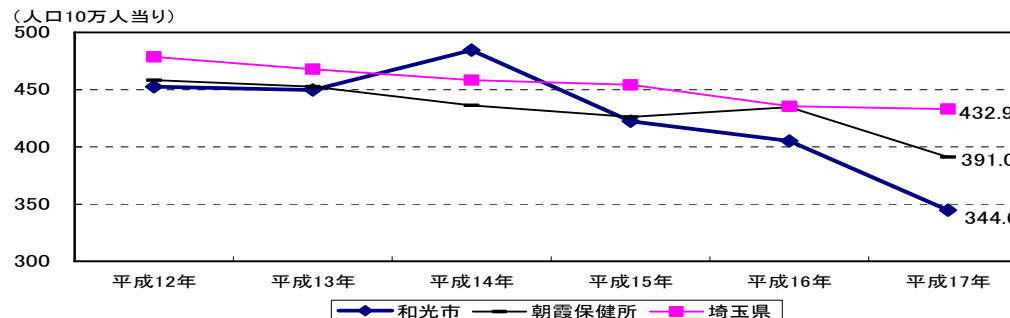
順位	市区町村名	女
1位	三芳町	86.4
2位	狭山市	85.8
3位	所沢市	85.7
4位	新座市	85.4
4位	飯能市	85.4
6位	鶴ヶ島市	85.2
7位	日高市	84.9
8位	和光市	84.8
8位	上福岡市	84.8
10位	志木市	84.7

【平成17年】

順位	市区町村名	男
1位	所沢市	80.4
2位	和光市	80.2
2位	入間郡 三芳町	80.2
4位	さいたま市 浦和区	80.1
5位	狭山市	80.0
5位	比企郡 鳩山町	80.0
7位	さいたま市 南区	79.9
8位	さいたま市 中央区	79.8
9位	さいたま市	79.7
9位	さいたま市 大宮区	79.7

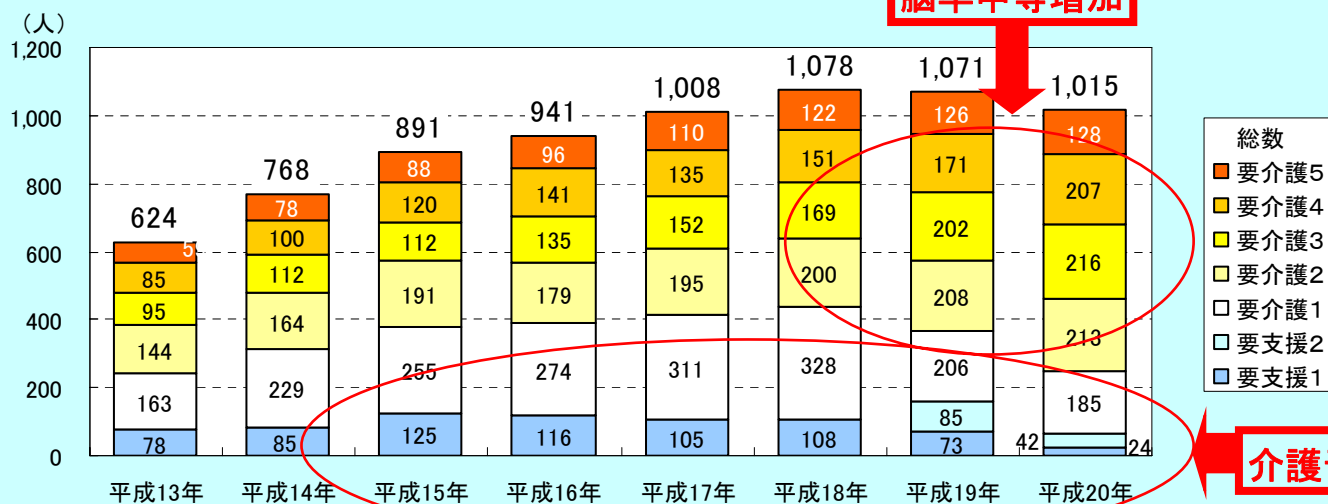
順位	市区町村名	女
1位	和光市	86.7
2位	入間郡 三芳町	86.6
3位	さいたま市 西区	86.5
3位	狭山市	86.5
5位	所沢市	86.3
5位	新座市	86.3
7位	比企郡 鳩山町	86.2
8位	飯能市	86.0
8位	ふじみ野市	86.0
10位	さいたま市 桜区	85.9

年齢調整死亡率の推移（総死亡）

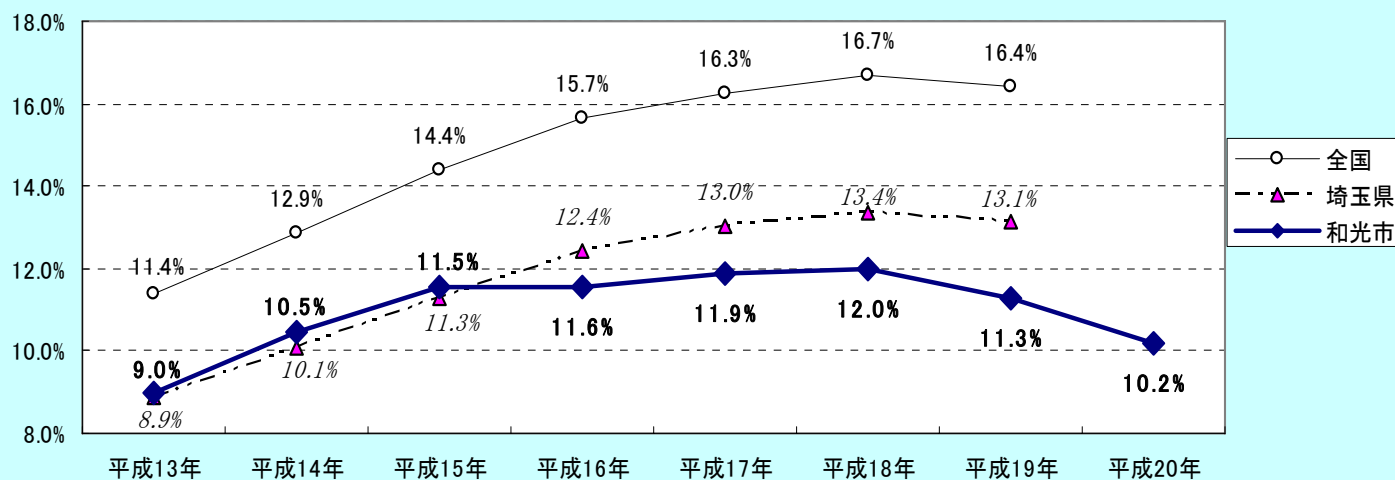


認定者数の推移(介護予防効果による軽度減少)

要介護(要支援)認定者数の推移



要介護(要支援)認定率の推移



2 4 和光市の地域包括支援センターにおける介護予防サービス支援計画の状況等

①介護予防ケアマネジメント（予防給付）

（単位：件、人）

※1）「改善」・「悪化」・「維持」は、予防サービス導入前から年度末時点の状態変化を示す

地域包括支援センター	プラン作成件数	プラン作成実人数(A)	改善者数(B)	悪化者数(C)	維持者数(D)	死亡等
南	109	65	46	13	6	0
北	120	80	50	23	7	0
中央	69	50	30	14	6	0
合計	298	195	126	50	19	0
南			70.8%	20.0%	9.2%	
北			62.5%	28.8%	8.8%	
中央			60.0%	28.0%	12.0%	
合計			64.6%	25.6%	9.7%	

※2）改善者：要支援1・2から自立（非該当）となった人

※3）悪化者：要支援1から要支援2、または要支援1・2から要介護状態へ移行した人

※4）維持者：年度末時点において要支援1・2から要介護度の変化がなかった人

※5）下段は、プラン作成実人数に占める改善者数、悪化者数及び維持者数の割合
（小数点以下第二位を四捨五入）

※6）改善率＝（B／A）％、悪化率＝（C／A）％、維持率＝（D／A）％

和光市の介護予防ケアマネジメント(特定高齢者の実績)

地域包括支援センター	プラン作成実人数 (A)	改善者数(B)	悪化者数 (C)	維持者数 (D)	死亡等
南	64	25	10	29	0
北	46	29	2	15	0
中央	55	23	8	23	1
長寿あんしん課	21	11	2	8	0
合計	186	88	22	75	1
南		39.1%	15.6%	45.3%	
北		63.0%	4.3%	32.6%	
中央		41.8%	14.5%	41.8%	
長寿あんしん課		52.4%	9.5%	38.1%	
合計		47.3%	11.8%	40.3%	

※1)「改善」・「悪化」・「維持」は、介護予防事業参加前から年度末時点の状態変化を示す

※2)改善者:特定高齢者から一般高齢者へ移行した人及び基本チェックリストの合計ポイントが減少した人

※3)悪化者:基本チェックリストの合計ポイントが増加した人

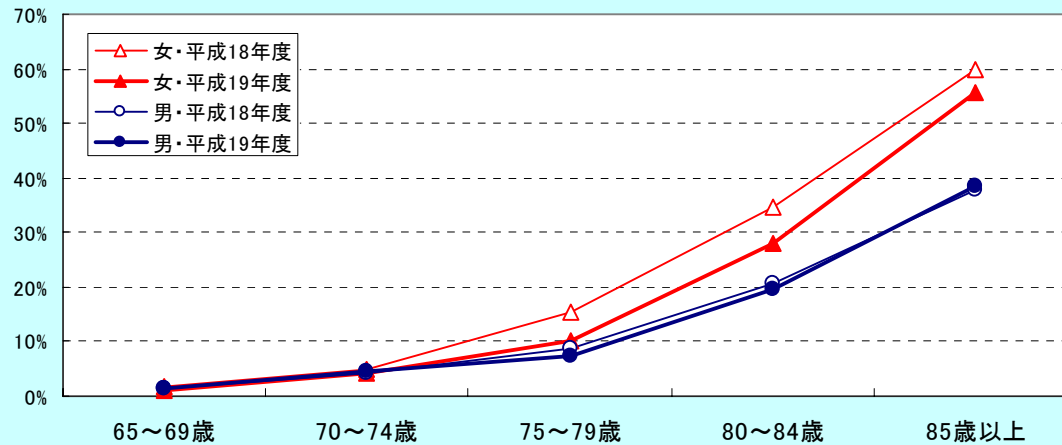
※4)維持者:基本チェックリストの合計ポイントに増減がなかった人

※5)下段は、プラン作成実人数に占める改善者数、悪化者数及び維持者数の割合
(小数点以下第二位を四捨五入)

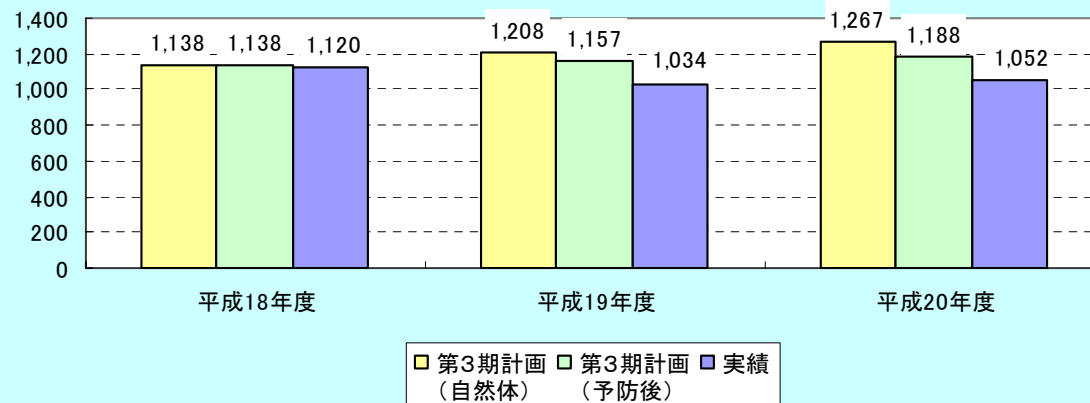
※6)改善率=(B/A) %、悪化率=(C/A) %、維持率=(D/A) %

要介護・要支援認定者数の推計 ― 認定率、実績

年齢階級別認定率の変化



認定者数の推移(計画と実績の比較)





的確なエントリー（対象者の発見）

- 介護予防は、スクリーニング手法がポイント
- スクリーニングは閉じこもり・孤立・孤独死の予防にも効果を発揮する
- 介護給付等は、介護認定更新時における状態像とプラン及びサービス提供内容から給付適正を行う
- 権利擁護等は、地域相談・地域ネットワーク情報から。最も重要なのは市民周知のあり方！
- 様々なサービス必要量とサービス供給量の適正把握がポイント！

介護予防スクリーニングシートの活用

保健福祉事業による的確な対象者の選定

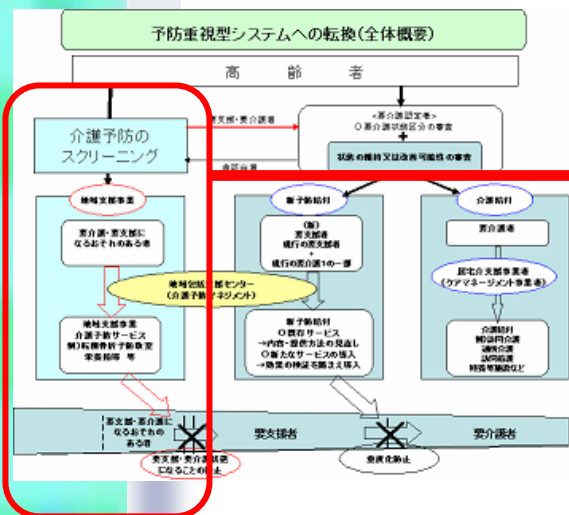
(国の基本チェックリストも包含した)

和光市の手法

※ 保険料納付還元事業をアピール

※ ハイリスク者の把握

特定高齢者・要支援1.2等



○これまでのような住民のニーズ調査では、
一般高齢者の『要支援・要介護状態になるおそれのある者』
の割合・人数の把握は、非常に困難。



○介護予防スクリーニングシートを活用することにより

11項目の点数化及びリスク判定

1. 生活機能低下
2. 閉じこもり
3. 転倒骨折
4. 低栄養
5. 虚弱者
6. 尿失禁
7. 心の健康
8. うつ
9. 足のトラブル
10. 口腔ケア
11. 運動器

地域支援事業等の流れ

- ①対象者スクリーニング
- ②予防プランの作成等
マネジメントの実施
- ③予防サービスの提供

スクリーニングの目的は多様

生活圏域のリスク実態に適した、具体的な根拠のある地域支援事業等を企画・実施することが可能

政策準備評估

介護予防サービスの必要量把握・サービス基盤整備指標

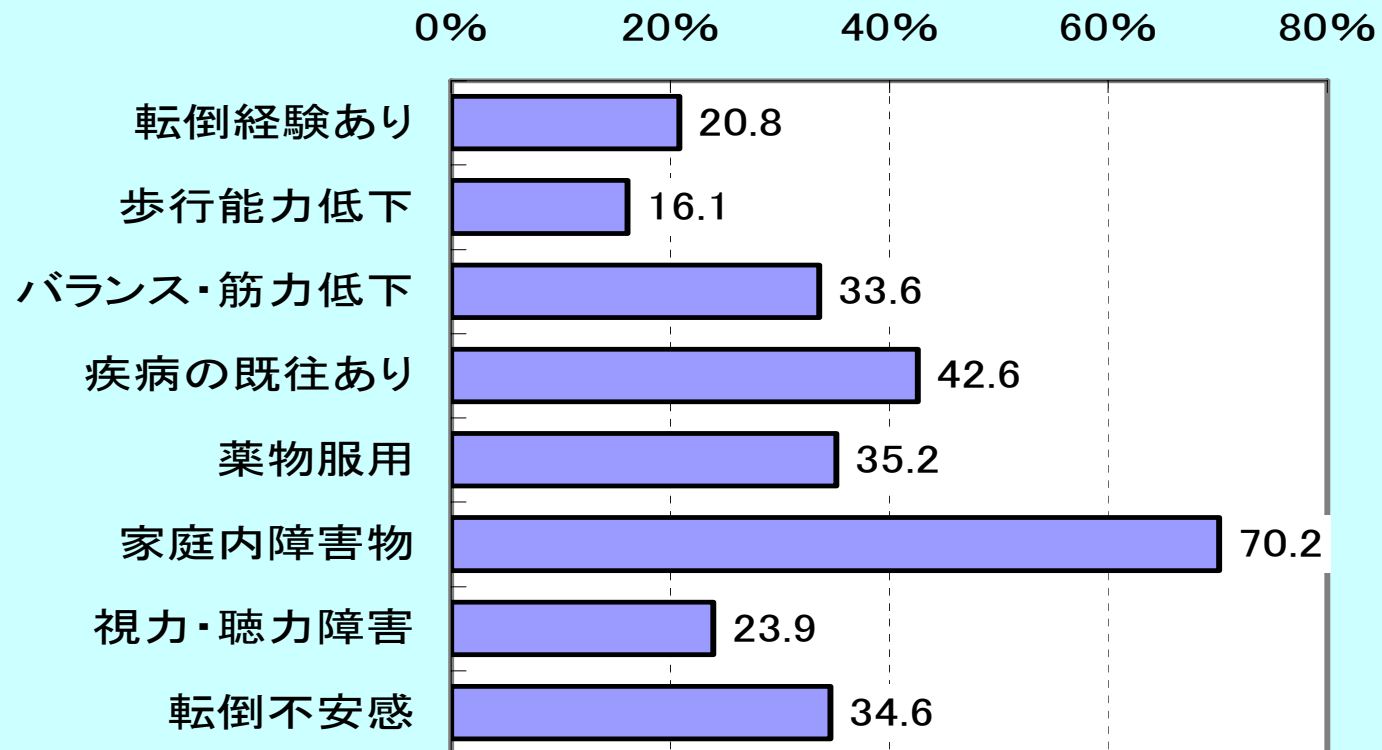


地域調査の実施

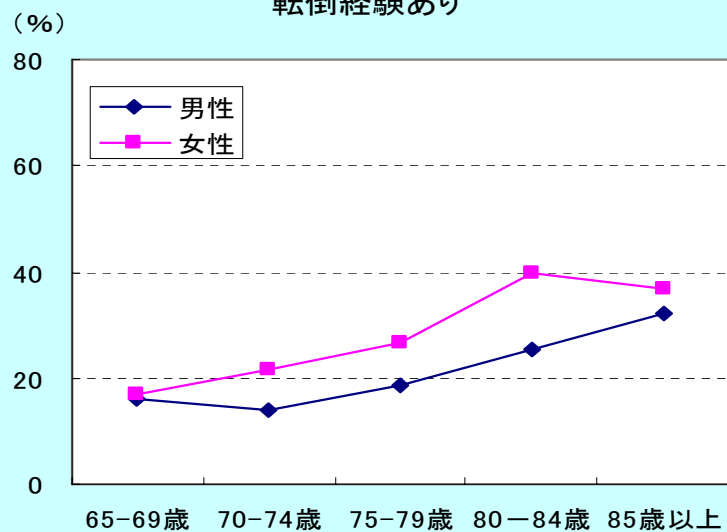
(日常生活圏域の本質的なニーズの把握)

- ① スクリーニング未回収者への訪問調査
- ② スクリーニング分析からの介入急務の重点地区への訪問調査を実施
- ③ 個別的自立支援はもとより、地域的自立支援が必要なケース
- ④ 法定サービス以外に、地域と個別に必要なニーズ把握と新たな社会福祉資源となる人材の発掘
- ⑤ 地域包括ケアの基礎となる！

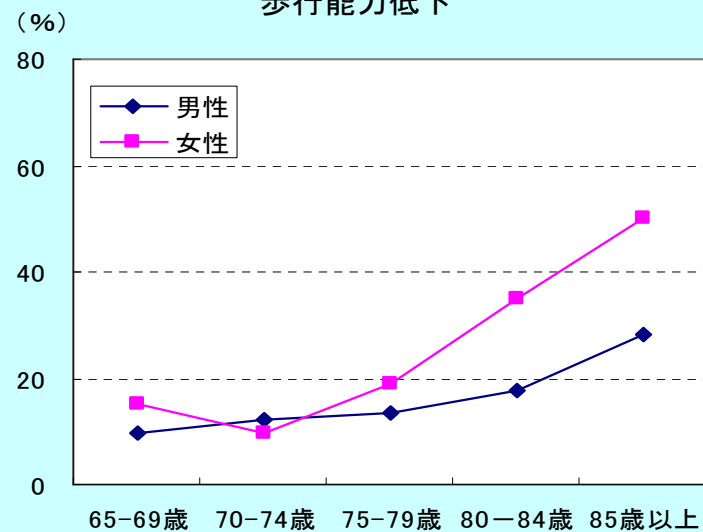
介護予防事業施行 始まりの根拠 和光市のスクリーニングから(転倒リスク) 健康寿命100



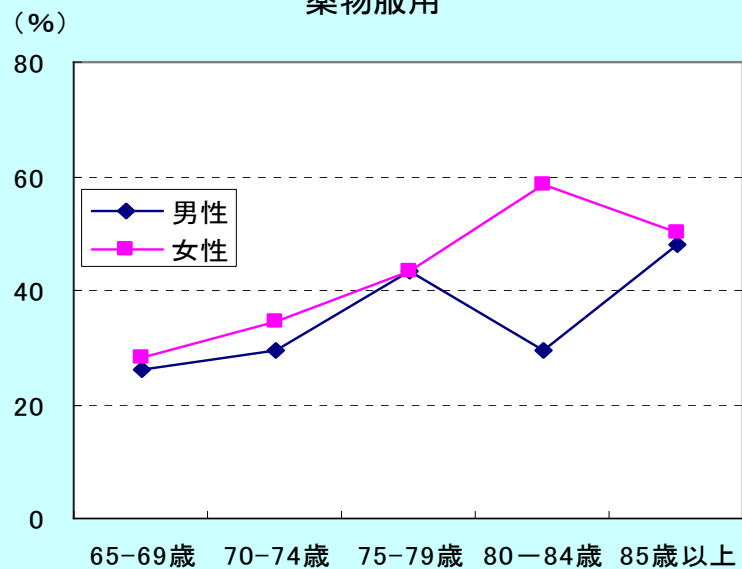
転倒経験あり



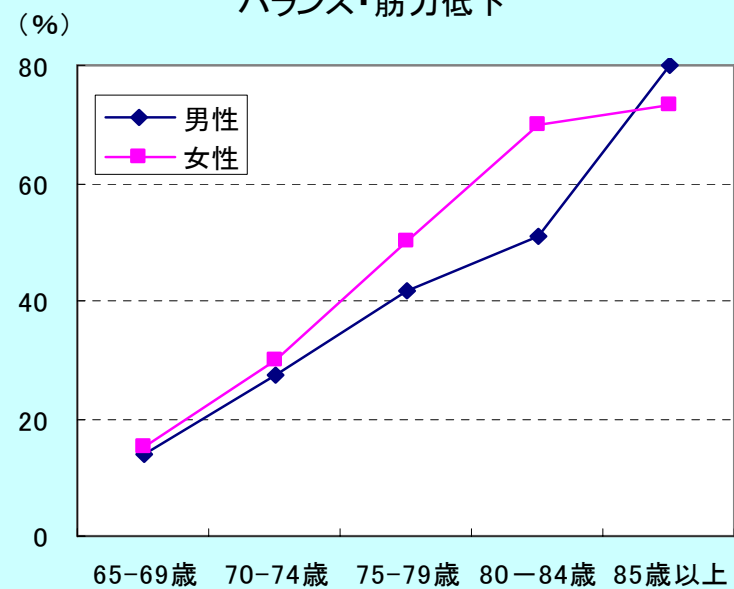
歩行能力低下



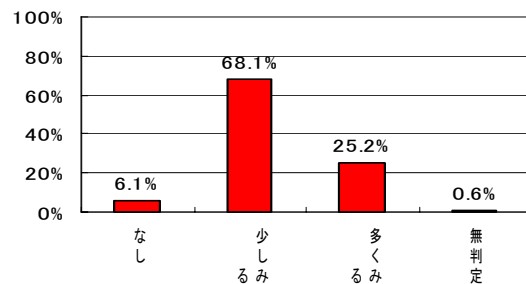
薬物服用



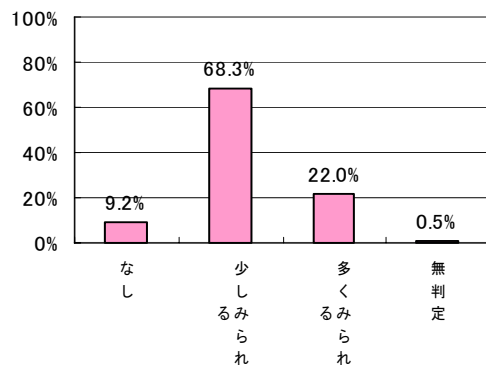
バランス・筋力低下



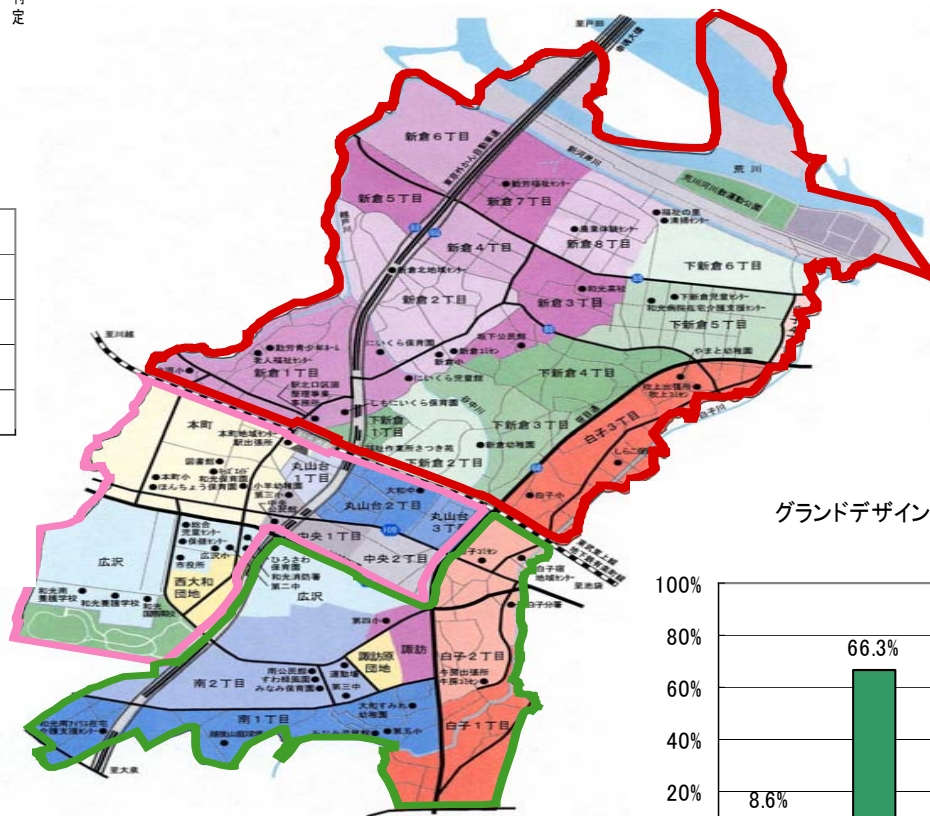
グランドデザイン北エリア



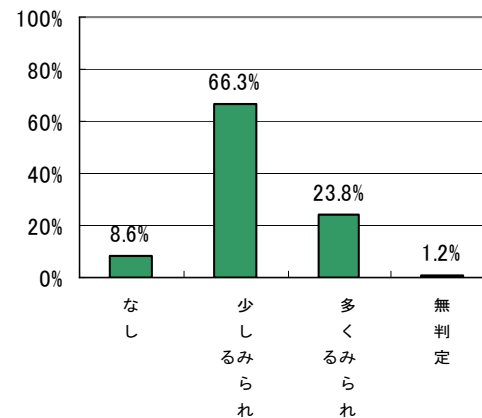
グランドデザイン中央エリア



日常生活圏域	なし		少しみられる		多くみられる		無判定		総計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
グランドデザイン北エリア	22	6.1%	246	68.1%	91	25.2%	2	0.6%	361	100.0%
グランドデザイン中央エリア	34	9.2%	252	68.3%	81	22.0%	2	0.5%	369	100.0%
グランドデザイン南エリア	35	8.6%	270	66.3%	97	23.8%	5	1.2%	407	100.0%
総計	91	8.0%	768	67.5%	269	23.7%	9	0.8%	1137	100.0%



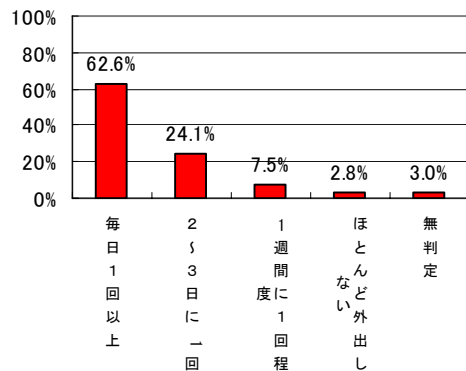
グランドデザイン南エリア



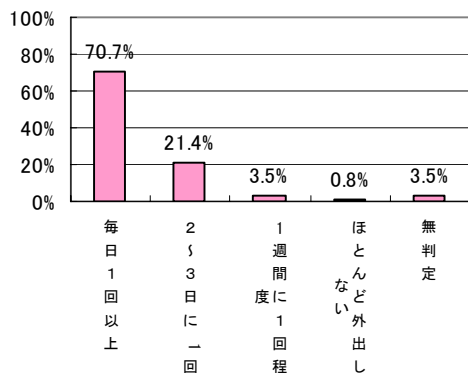
転倒リスク地域状況(W市)

閉じこもりの地域状況(W市)

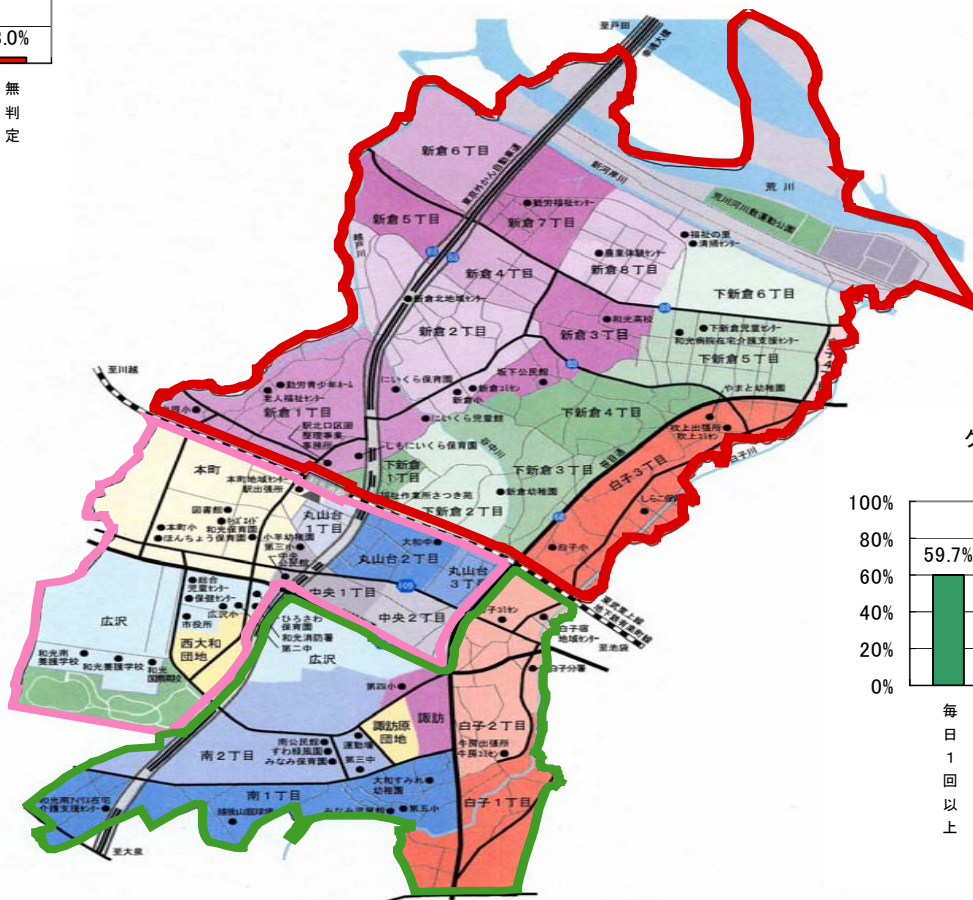
グランドデザイン北エリア



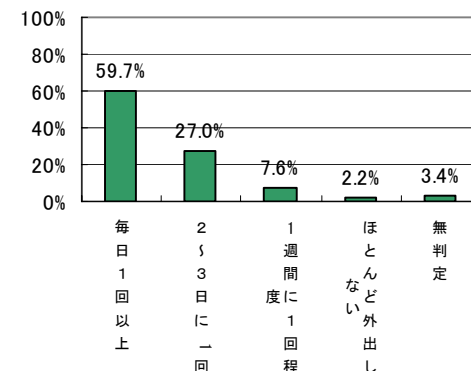
グランドデザイン中央エリア



日常生活圏域	毎日1回以上		2~3日に1回		1週間に1回程度		ほとんど外出しない		無判定		総計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
グランドデザイン北エリア	226	62.6%	87	24.1%	27	7.5%	10	2.8%	11	3.0%	361	100.0%
グランドデザイン中央エリア	261	70.7%	79	21.4%	13	3.5%	3	0.8%	13	3.5%	369	100.0%
グランドデザイン南エリア	243	59.7%	110	27.0%	31	7.6%	9	2.2%	14	3.4%	407	100.0%
総計	730	64.2%	276	24.3%	71	6.2%	22	1.9%	38	3.3%	1137	100.0%

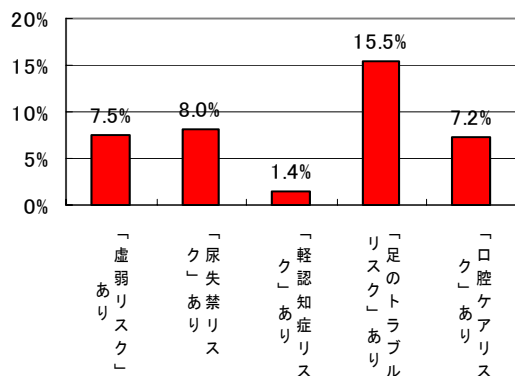


グランドデザイン南エリア

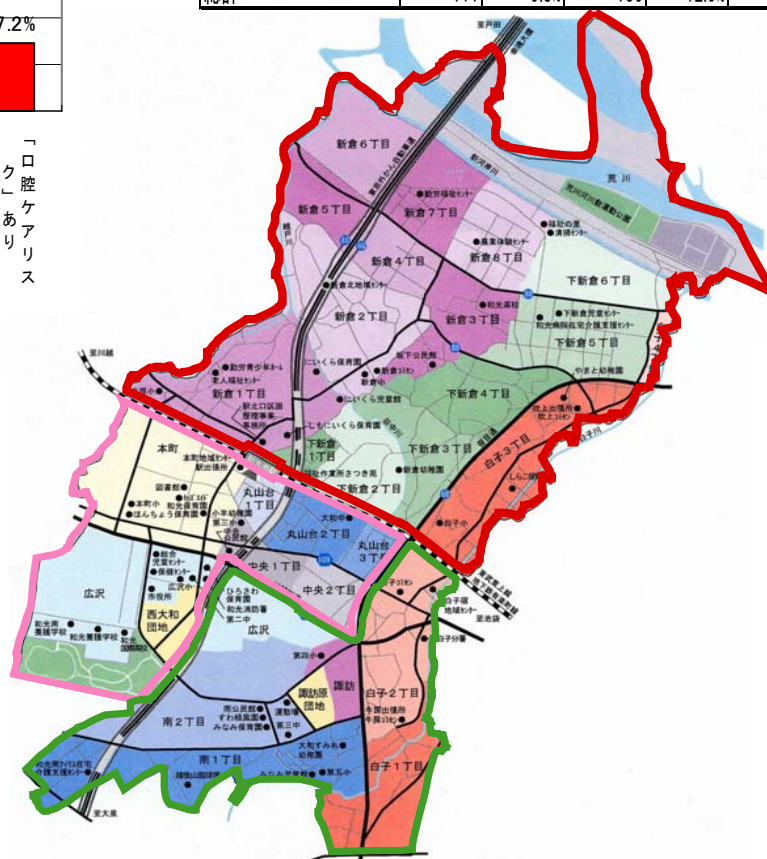
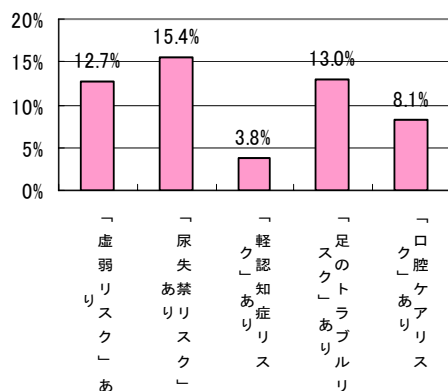


認知症リスク等の状況(W市)

グランドデザイン北エリア

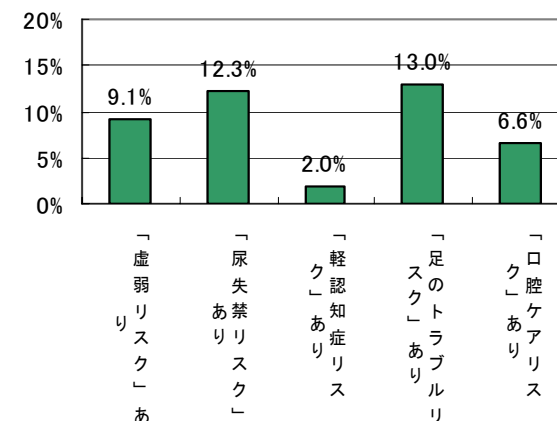


グランドデザイン中央エリア



日常生活圏域	「虚弱リスク」あり		「尿失禁リスク」あり		「軽認知症リスク」あり		「足のトラブルリスク」あり		「口腔ケアリスク」あり		回答者数
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
グランドデザイン北エリア	27	7.5%	29	8.0%	5	1.4%	56	15.5%	26	7.2%	361
グランドデザイン中央エリア	47	12.7%	57	15.4%	14	3.8%	48	13.0%	30	8.1%	369
グランドデザイン南エリア	37	9.1%	50	12.3%	8	2.0%	53	13.0%	27	6.6%	407
総計	111	9.8%	136	12.0%	27	2.4%	157	13.8%	83	7.3%	1137

グランドデザイン南エリア



和光市における地域密着型サービス、介護予防拠点等

<グランドデザイン北エリア>

番号・記号	場所	年度	サービス種類・整備内容	定員等
A	新倉2丁目	設置済	グランドデザイン北エリア 和光市北地域包括支援センター	-
B	白子3丁目	21年度	グランドデザイン北エリア 和光市北第2地域包括支援センター	-
①	新倉1丁目	整備済	介護予防小規模多機能型居宅介護(新倉高齢者福祉センター内)・地域交流他	20人
②	新倉8丁目	21年度整備完了	ケアハウス(地域密着型特定施設入居者生活介護) ※公有地利用	29人
③	下新倉3丁目	整備済	小規模多機能型居宅介護 グループホーム ※併設型施設	25人 9人
④	下新倉5丁目	整備済	認知症対応型デイサービス グループホーム ※併設型施設	12人 18人
⑤		21年度以降	高齢者専用賃貸住宅等(地域密着型特定施設入居者生活介護)	29人

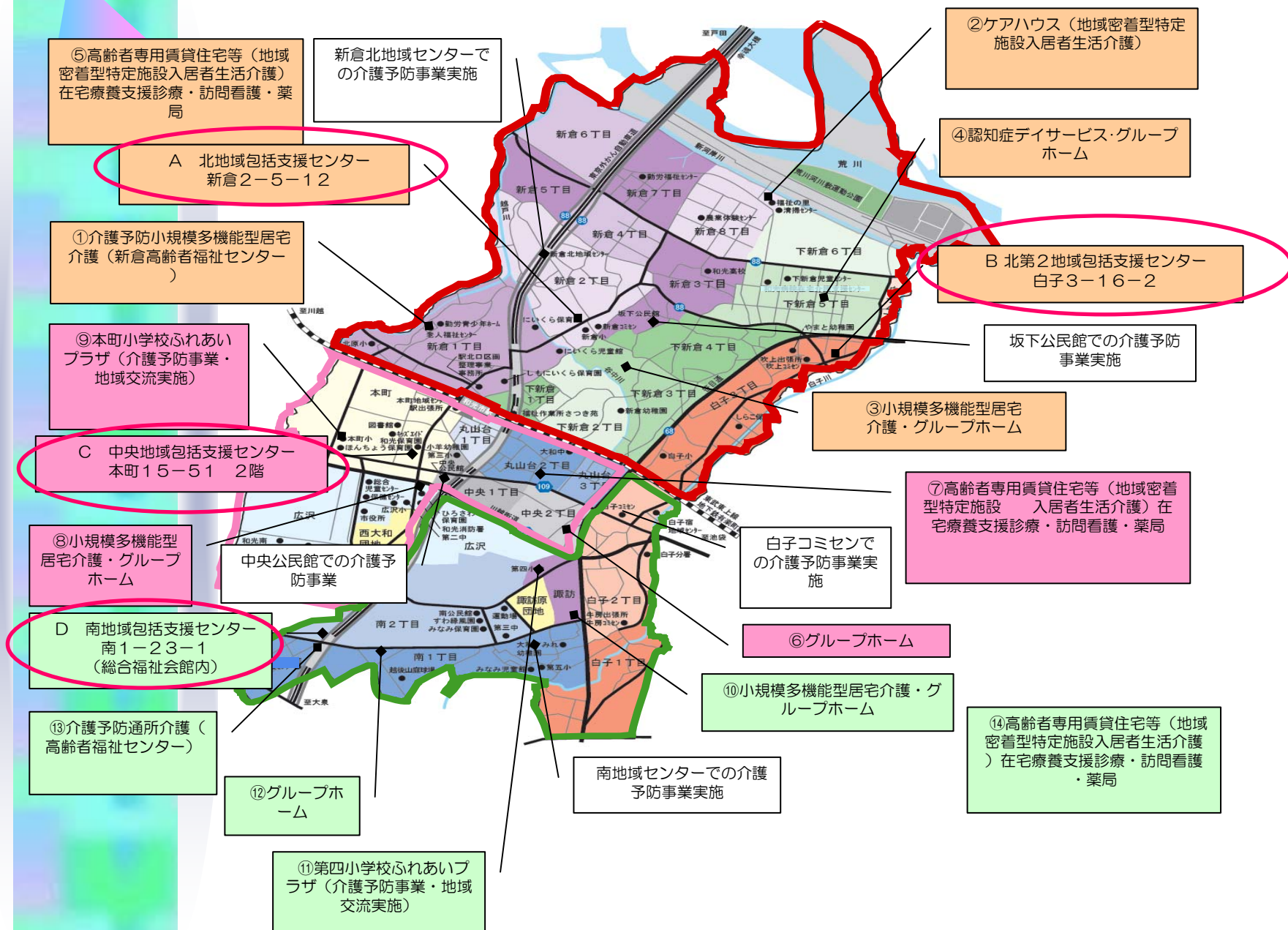
<グランドデザイン中央エリア>

番号・記号	場所	年度	サービス種類・整備内容	定員等
C	本町	設置済	グランドデザイン中央エリア 和光市中央地域包括支援センター	-
⑥	中央2丁目	整備済	グループホーム	27人
⑦	丸山台2丁目	21年度	高齢者専用賃貸住宅等(地域密着型特定施設入居者生活介護)	29人
⑧	広沢	21年度	小規模多機能型居宅介護 グループホーム ※併設型施設 公有地利用	25人 9人
⑨	本町	整備済	本町小学校ふれあいプラザ(介護予防・地域交流拠点)	-

<グランドデザイン南エリア>

番号・記号	場所	年度	サービス種類・整備内容	定員等
D	南1丁目	設置済	グランドデザイン南エリア 和光市南地域包括支援センター(総合福祉会館内)	-
⑩	諏訪	整備済	小規模多機能型居宅介護 グループホーム ※併設型施設	25人 8人
⑪	諏訪	整備済	第四小学校ふれあいプラザ(介護予防・地域交流拠点)	-
⑫	南1丁目	整備済	グループホーム(デイサービス併設)	18人
⑬	南1丁目	整備済	介護予防通所介護(高齢者福祉センター内)・地域交流他	15人
⑭		22年度以降	高齢者専用賃貸住宅等(地域密着型特定施設入居者生活介護)	29人

日常生活圏域・地域包括ケアデザイン:サービス基盤整備

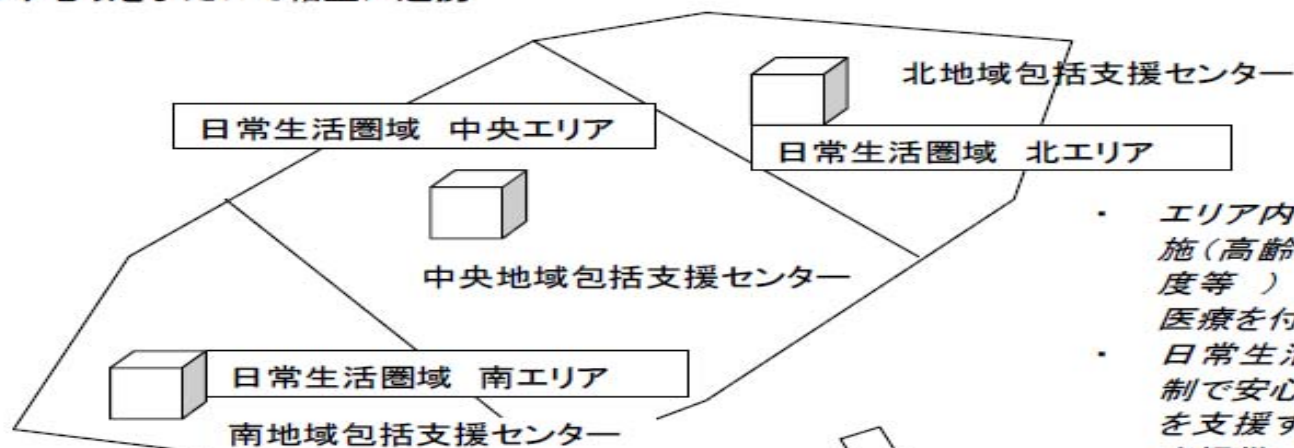


図表5

日常生活圏域・地域包括ケアデザイン

- ・各エリアに地域包括支援センターを設置
- ・地域拠点は医療系の場合と福祉系の場合があるが、地域をまたいで相互に連携

日常生活圏域 3エリア



- ・ エリア内の地区ごとの分析を実施（高齢化率、独居率、要介護度等）→ 地区の状況に応じ医療を付加すべき地域を整備
- ・ 日常生活圏域ごとに以下の体制で安心感がベースにある生活を支援する医療・福祉サービスを提供

介護予防

高齢者の権利擁護

高齢者住居

医療施設

地域包括支援センター

高齢者住居

地域密着型サービス拠点
（小規模多機能居宅、GH等）

連携

エリア内の体制

生活支援に必要な
医療系サービス

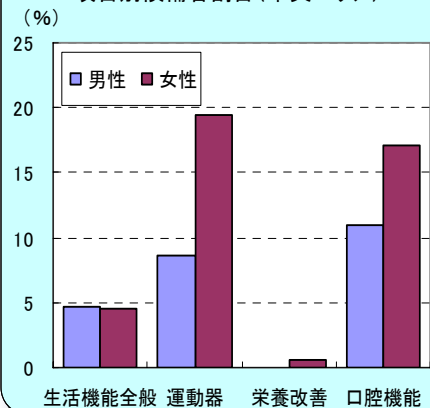
- ・ 何かのときに安心な訪問診察可能な医療体制
- ・ 在宅でのメディカルサービス（在宅療養支援診療・訪問看護・療養デイサービス・訪問栄養指

生活支援に必要な
福祉系サービス

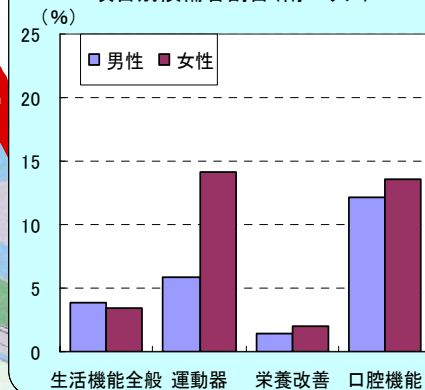
- ・ 訪問介護（夜間対応含む）
- ・ 送迎サービス
- ・ 食の自立サービス
- ・ 小規模多機能型居宅介護
- ・ デイサービス
- ・ 住宅改修・福祉用具/等

基本チェックリスト 一次・二次・三次利用 がポイント (特定高齢者候補者割合)

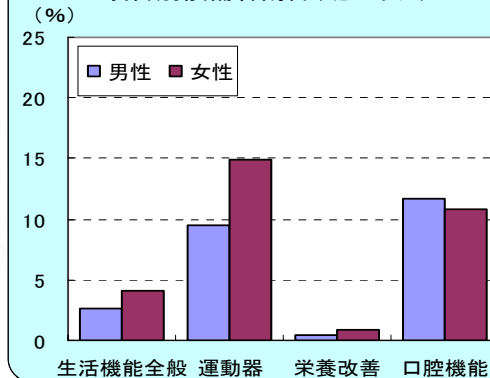
項目別候補者割合(中央エリア)



項目別候補者割合(南エリア)



項目別候補者割合(北エリア)

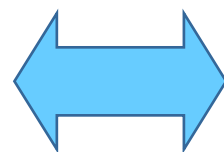


和光市の保険者独自研修

- ケアマネ・通所・訪問系スタッフスキルアップ研修

- 地域支援事業スタッフ研修

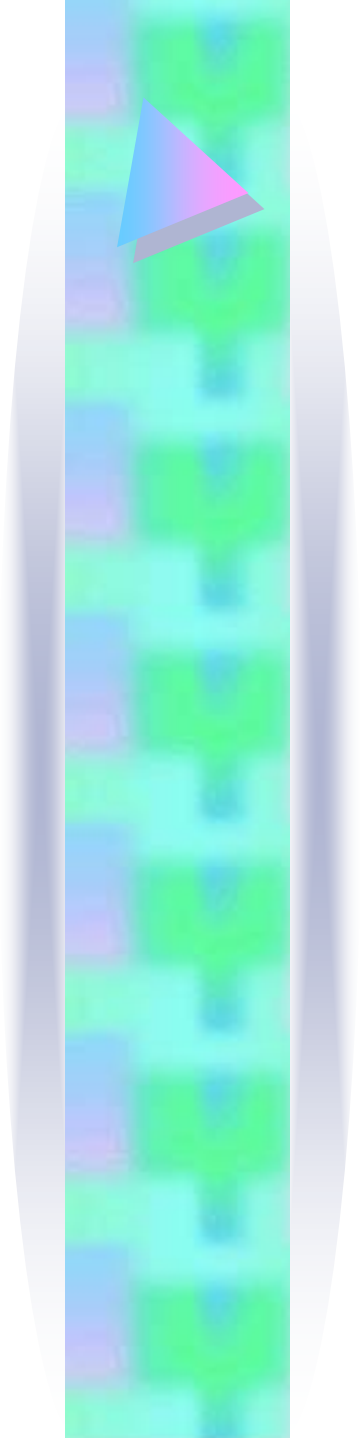
- 日常生活圏域関係スタッフ研修



- 介護予防ヘルパー育成
- 居宅介護重度者対応
- アセスメント(接遇・洞察)
- 個別計画作成
- 介護・医療包括プラン

- 介護予防サポーター養成
- 権利擁護サポーター養成
- 特定高齢者事業委託スタッフ育成
- 認知症サポーター

- 民生委員(地区・高齢者部会)連携講座
- 自治会・地域団体連携出前講座



介護予防参考資料

行動変容の一部 (事業終了後のあり方)

※一番大切な評価ポイント(生活機能向上の目標達成をして)

• 介護予防事業終了者

- 地域活動支援
- 地域高齢者就労支援
- 自立生活の復活・向上
- 的確なサポート利用
- 定期的なアセスメント
- セルフケアの習慣化

※上記が介護予防の目指すもの

※地域包括支援センタースタッフ
コーディネートの本質

• 高齢者福祉センター等におけるサークル活動(チューブトレーニング等)ボランティア等

• 老人クラブ・自治会活動

• シルバー人材センター雇用登録・介護予防サポーターの有償ボランティア等の活動

• 自己的観劇鑑賞や趣味等

特定高齢者・一般高齢者への融合型予防事業(運動器向上)



特定高齢者・一般高齢者への融合型予防事業(栄養・口腔)



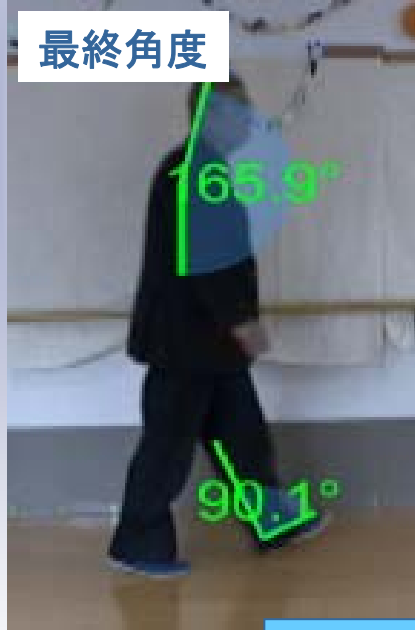
特定高齢者・一般高齢者への融合型予防事業(アクティビティ・カジノ)



最終歩行残像画



最終角度



初回角度



初回歩行



評価値の共有のため

歩行速度は、変化がなかったものの上体の姿勢が顕著に改善
つま先の上がりも改善（映像をみることで効果を実感）

特定高齢者・一般高齢者への融合型予防事業(陶芸・修了式)



次のステップへ

予防プログラム修了者によるチューブトレーニング教室



予防プログラム修了者によるチューブトレーニング教室



予防プログラム修了者によるチューブトレーニング教室



予防プログラム修了者によるチューブトレーニング教室



お礼に子供達からタッチパネルアクティビティを教わる

